



自治会の“今”を教えてください

すみトーク

を実施しました!



▲伊吹山テレビはこちら

市広報秘書課 ☎53-5160 53-5148

すみトークとは、**すみ田**が、**すみ**続けたいまちに向けて、**すみ**ずみまで地域を見るために、直接自治会へ出向き、地域の皆さまのお声を聞くための意見交換会です。

令和7年度は27自治会とすみトークを実施しました。自治会の皆さまにいただいたご意見から見えてきた課題は、地域農業や空き家、公共交通などいくつもありますが、今回は**自治会運営の課題**と、解決するための市の取り組みについてご紹介します。

すみトークで見えてきた自治会運営の課題

すみトークを実施した結果、多くの自治会が**自治会運営の将来不安を強く感じている**ということがわかりました。特に、年々増える自治会長業務の負担感や、定年延長で仕事を続ける人が多い中、人口減少も進んでおり、このままでは自治会長のなり手がなくなるのではという不安を抱えておられる方などが多くいらっしゃいました。

自治会運営の将来不安を取り除くために

上記のような自治会運営の将来不安を解決するために、できることから対策を進めたいと考えています。

①自治会長の負担軽減に向けて、市役所からの依頼や配布物を削減

市からの依頼や配布物の一部削減に向けた見直しのほか、自治会担当窓口を山東支所に集約するなど、将来にわたり持続可能な自治会運営を行っていただけるよう支援を強化します。

②自治会役員のみなり手不足解消に向け、自治会業務を効率化させる取り組みを支援

人口減少に併せて自治会内の組数を減らしたり、役職の数を減らすなど、自治会が主体的に業務を効率化したり、負担を軽減していただけるような取り組みを新たに支援します。

詳しくは、上記二次元コードから伊吹山テレビ特集番組をご覧ください!



対話と共創によるまちづくりに取り組みます

お忙しい中、「すみトーク」を実施いただきました自治会役員の皆さまに心より感謝申し上げます。

お寄せいただいたご意見はどれも切実で、時には厳しいご意見もいただきましたが、それらは地域を愛し、暮らしを真剣に考えておられる気持ちだと受け止めております。

直接対話することで新たな視点に気づかされるとともに、市の現状をお伝えする中で相互理解が深まり、まちづくりへの関心を一層高めていただけたものと感じております。

いただいたご意見のうち、対応可能なものは速やかに実施し、実現に時間を要するものについても、できる限り粘り強く取り組み、「住み続けたいなる米原」を目指し、引き続き努力してまいります。

「すみトーク」が未実施の自治会役員の皆さまにおかれましては、ぜひお申し込みいただき、直接ご意見をお聴かせください。



▲すみトークのお申し込みはこちら
(市公式ウェブサイト)

米原市長 角田航也